

2ポートUSB2.0&1.1 HUB付き

USBテンキーパッド TK2-UF2BHシリーズ

ユーザーズマニュアル

ELECOM

本製品をご使用になる前に、このマニュアルの「お使いになる前にご確認ください」を必ずお読みください。ご使用の環境によっては本製品をパソコンに接続しただけでは、正しい文字が入力できない場合があります。

この度は、エレコムの2ポートUSB2.0&1.1 HUB付きテンキーパッド“TK2-UF2BHシリーズ”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは“TK2-UF2BHシリーズ”の使用方法および安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。特にご使用前にご確認いただきたいことがありますので、必ずご使用前にこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて“TK2-UF2BHシリーズ”のことを「本製品」と表記しています。また、このマニュアルはお読みになったあと大切に保管しておいてください。

- 本製品には以下のような特長があります。
- USB2.0/1.1に対応した2ポートHUB機能を装備しています。
 - 「NumLock問題」をハードウェアで解決できます。
 - キーピッチは使いやすい19mm、メンブレン方式を採用しています。

本製品は以下の条件で使用できます。

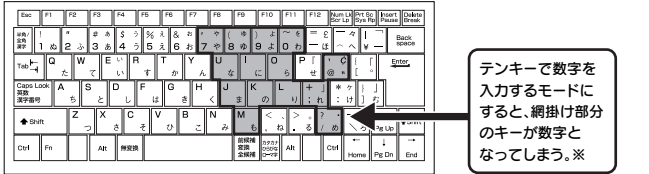
対応機種	IBM PC/AT 互換機でUSBポートを装備した機種 ※1
対応 OS ※2	Windows® XP/Me/2000/98 日本語 OS に対応

※1 HUB機能をUSB2.0でご使用になるにはパソコンのUSBポートがUSB2.0に対応している必要があります。

※2 HUB機能についてハイスピードモードを含むUSB2.0に対応するのは、Windows® XP SP1以降、Windows® 2000 SP4以降です。Windows® Me/98はUSB2.0のハイスピードモードに対応しておりませんのでUSB1.1互換として動作します。

■NumLock問題

USBテンキーをノートパソコンに接続しただけでは、数字入力ではなくカーソルキーとして機能します。USBテンキーから数字を入力するには、キーボード上の「NumLock」をオンにする必要があります。しかし、ほとんどのノートパソコンでは、NumLockキーをオンにすると、ノートパソコン上のキーもNumLock状態になり、ノートパソコン上の一部のキーが数字入力キーになってしまいます。本製品はハードウェアレベルでこの問題を解決し、ノートパソコンで「英字」や「かな」を入力しながら、テンキーで数字を入力できるようになりました。



※網掛け部分のキーは一般的な例です。ご使用になるパソコンやキーボードの配列により、網掛けに該当する部分が異なる場合があります。

■キーリピート機能について

一定時間キーを押し続けると、「キーリピート」により同じ文字を繰り返して入力します。ただし、**00**キーのみ、キーリピートは無効です。入力時にはご注意ください。

- HUB機能をご使用になる場合のご注意
- HUB機能をUSB2.0でご使用になるにはパソコンのUSBポートがUSB2.0に対応している必要があります。
 - HUB機能についてハイスピードモードを含むUSB2.0に対応するのは、Windows® XP SP1以降、Windows® 2000 SP4以降だけです。該当するSP（サービスパック）を適用されていない場合は、Windowsをアップデートする必要があります。
 - Windows® Me/98はUSB2.0のハイスピードモードに対応しておりませんのでUSB1.1互換として動作します。
 - 本製品のUSB HUBには消費電力100mAを超えないデバイスを接続してお使いいただけます。

Tips

用語について

ハイスピードモード

USB2.0の最速モード、パソコン、USB機器、USB HUBなどすべてがUSB2.0環境に対応している場合に使用できます。また、使用可能なOSに制限があります。

パスポワー

USB機器に必要な電源をUSBケーブルから供給する方式。ACアダプタなどを使用しないため接続が簡単ですが、USB HUBの電源供給容量を超える機器は接続できません。

- Microsoft Excelを使用する場合の注意点
- Microsoft Excelで本製品を使用すると以下のような現象が起こります。これはMicrosoft Excel側の仕様であり、本製品でこの現象を回避することはできません。
- セルに何も入力していない状態で本製品の **0** キーを押すと、本体キーボードの[Alt]キーを押したときと同じようにツールバーが選択されてしまいます。
 - 本製品の **0** キーを押してしまった場合は、本体キーボードの[Alt]キーを押してください。入力可能な状態に戻ります(本製品の **0** キーを押しても入力可能な状態に戻すことはできません)。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

- 記号は「してはいけない」ことを示します。
- 記号は「しなければならない」ことを示します。

警 告

- 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止しうえて、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止しうえて、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

- 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止しうえて、本製品をパソコンからはずしてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

- 本製品に接続したケーブルをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

注 意

- 本製品にパソコンおよび周辺機器を接続するときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

- 本製品は次のようなところには置かないでください。
 - ・日のある自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
 - ・多湿なところ、結露をおこすところ
 - ・平坦でないところ、振動が発生するところ
 - ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ・ほごりの多いところ

- 本製品にケーブルを接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、本製品が故障したり、けがをする恐れがあります。

- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をおこすことがあります。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

●エレコム総合インフォメーションセンター

商品に関するお問い合わせは

TEL. 0570-084-465

FAX. 0570-050-012

受付時間

9:00～12:00 年中無休

13:00～18:00

重要 お使いになる前にご確認ください

Windows® 98/98SEをご使用の場合はこのあと説明している問題が発生することはありませんので、この項目をお読みになる必要はありません。

- 101 英語キーボード誤認識の問題について
- 本製品をWindows® XP、Windows® MeおよびWindows® 2000でお使いの場合、本製品をパソコンに接続したあと、再起動後にご使用の環境によっては本体キーボードから正しく文字を入力できなくなることがあります。これはお使いの本体キーボードをWindows®自体が英語キーボードと間違って認識するために起こる問題です。そのため、キートップに印字されている文字を入力しても実際の画面には異なる文字が表示されます。



この問題を解決するには、本製品を接続する前に解決しておく方法(Windows Meを除く)と、本製品を接続後、誤認識が発生している場合に解決する方法があります。いずれかの方法で解決してください。

推奨

本製品を接続する前にできること

問題が発生する前に解決する場合

Windows® XPの場合

Windows®をアップデートします

Windows® XPをSP1 ※以降にアップデートしておく、誤認識は発生しません。

Windows® 2000の場合

Windows®をアップデートします

Windows® 2000をSP4 ※以降にアップデートしておく、誤認識は発生しません。

Windows® Meの場合

接続前に解決する方法はありません

接続後に誤認識がないか確認してください。誤認識があった場合は右の「本製品を接続したあとにできること」をお読みください。

Windows® XP/2000については、うら面「サービスパックのバージョンを確認する」をお読みください。

本製品を接続したあとにできること

問題が発生したあとで解決する場合

ユーティリティで設定を変更します

誤認識が発生したときは、弊社のホームページよりユーティリティをダウンロードして実行します。

いずれのOSの場合でも、うら面「ユーティリティで設定を修正する」をお読みください。

※ SP= サービスパックの略

- ご使用の環境によっては上記の条件を満たしていない場合でも、誤認識が発生しないことがあります。
- サービスパックをインストールせず、本製品を接続したあと誤認識が発生した場合に、弊社のホームページよりユーティリティをダウンロードして解決してもかまいません。

Tips

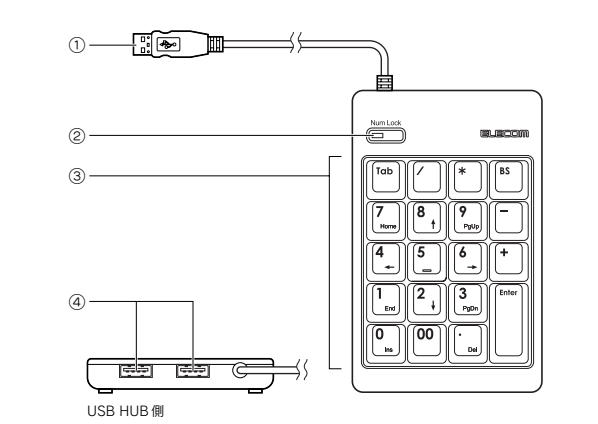
SP（サービスパック）について

Microsoft社のソフトウェア製品が発売されたあとで公開される修正プログラムをひとまとめにしたものです。OSなどのソフトウェア製品は、発売後に不具合が発生することが多いので、そのたびに修正プログラムが公開されます。これがある程度集まったところをまとめて提供されるものが「サービスパック」です。多くの場合「Service Pack」を省略して「SP」と表記されています。

基本仕様

製 品 名	テンキーパッド
製 品 型 番	TK2-UF2BHシリーズ
インターフェイス	USB2.0 / USB1.1
USB HUBポート数	2
USB HUB給電能力	パスポワー、5V 100mA/ポート
対 応 機 種	IBM PC/AT 互換機でUSBポートを装備した機種 ※1
対 応 O S ※ 2	Windows® XP / Me / 2000 / 98 日本語 OS に対応
動 作 温 度	0～50℃
保 存 温 度	-40～60℃
形 状 寸 法	W88.9×D140.9×H24.5mm
質 量	約126g
梱 包 内 容	製品本体、マニュアル

各部の名称とはたらき

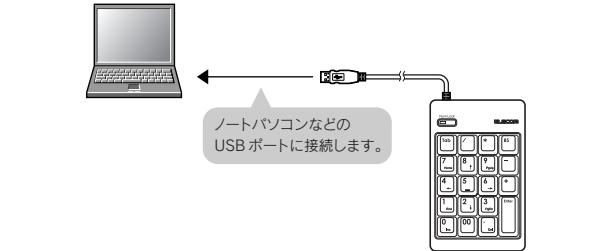


①	USBケーブル	パソコン本体などのUSBポートに差し込みます。
②	NumLockボタン	このボタンを押すことでNumLockのオン/オフを切り替えます。オンの時はLEDがグリーンに点灯します。
③	テンキー	NumLockがオンのときはキートップの上段の文字が有効です。オフのときは下段の文字の内容が実行されます。
④	USBポート	HUB機能を持ったUSBポートです。USB2.0/1.1に対応します。HUB機能についての詳細は冒頭の「HUB機能をご使用になる場合のご注意」をお読みください。

本製品を接続する

本製品をUSBポートに接続する前に「重要: お使いになる前にご確認ください」を必ずお読みください。

- ① 本製品のUSBコネクタをパソコン本体などのUSBポートに差し込みます。



- ② 初めてパソコンに本製品を取り付けたときに本製品を使用するためのドライバがインストールされます。

- Windows® XP/2000/Me
いずれのOSの場合も自動的にドライバがインストールされます。Windows® XPではWindows®画面右下にインストール完了のメッセージが表示されます。

- Windows® 98/98SE
ご使用の環境によっては手動でドライバをインストールする必要があります。裏面の「Windows® 98へのドライバのインストール」をお読みください。

- ③ ドライバのインストールが終わると本製品を使用することができます。

Tips

本製品のUSB HUB機能を使う

本製品にはUSB2.0/1.1に対応した2ポートUSB HUB機能があります。ご使用にあたってはこのマニュアル冒頭の「■HUB機能をご使用になる場合のご注意」をお読みください。

左記注記

- ※1 HUB機能をUSB2.0でご使用になるにはパソコンのUSBポートがUSB2.0に対応している必要があります。
- ※2 HUB機能についてハイスピードモードを含むUSB2.0に対応するのは、Windows® XP SP1以降、Windows® 2000 SP4以降です。Windows® Me/98はUSB2.0のハイスピードモードに対応しておりませんのでUSB1.1互換として動作します。

Windows® 98 へのドライバのインストール

Windows® 98 をご使用の場合でドライバをインストールするウィザード画面が表示された場合は、このあとの説明に従ってインストールしてください。インストール中に「Windows® 98 オペレーティングシステム」のCD-ROMが必要な場合がありますので、あらかじめCD-ROMをご用意ください。

Tips Windows® CD-ROMについて

- Windows® 98 プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合
コンピュータに添付されている「Windows® 98CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。ディスクが添付されていない場合は、CD-ROMを指定する替わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。なお、プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。
- Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98 CD-ROM」をご用意ください。

① コンピュータの電源を入れて、Windows®を起動します。

② 新しいハードウェアの追加ウィザードの画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。



③ 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。 ④ [次へ] ボタンをクリックします。



⑤ すべてのチェックボックスをオフにします。 ⑥ [次へ] ボタンをクリックします。

チェックボックスがオフ(□の状態)の状態になっているを確認します。



⑦ 検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認します。 ⑧ [次へ] ボタンをクリックします。



⑨ Windows® 98 CD-ROM をドライブに入れるようにメッセージが表示された場合は、「Windows® 98 オペレーティングシステム」のCD-ROM をドライブに入れます。 [OK] ボタンをクリックします。



※画面例は「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」のもので、す。 「Windows® 98 CD-ROM」と表示される場合もあります。

・ Windows® 98 CD-ROM の画面が表示された場合は、画面右上の  をクリックして画面を閉じてください。

Tips [OK] ボタンをクリックしたあと、〈ファイルのコピー〉画面が表示された場合

「ファイルのコピー元」にCD-ROMドライブのドライブ名と「WIN98」フォルダを入力するか、参照ボタンで「WIN98」フォルダを選択します。
※プリインストールモデルでWindows®のCD-ROMが添付されていなかった場合は、CD-ROMの替わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
※コピー先のほうが、CD-ROMのファイルより日付が新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●ドライブ/フォルダ名を入力する場合

- ①キーボードからCD-ROMを入れたドライブ名と「win98」を入力します。
例: CD-ROMをDドライブに入れた場合
D:\WIN98 (小文字でも可)
- ※ドライブ名に続いて「:」と「\」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。
- ② [OK] ボタンをクリックします。



●参照 ボタンをクリックする場合

- ①〈ファイルのコピー〉画面で、[参照] ボタンをクリックします。
- ②「ドライブ」でCD-ROMを入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
- ④〈ファイルのコピー〉画面の [OK] ボタンをクリックします。



⑩ ドライバのインストールが完了したので、[完了] ボタンをクリックします。

・ Windows® 98 CD-ROM を取り出してください。



Tips [OK] ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を要求されたときは

ご使用の環境によっては [完了] ボタンをクリックしたあと、ドライバの更新中にWindows® 98 CD-ROM を要求されることがあります。このような場合は、手順 ⑨ および手順 ⑩ の Tips を参考にしてインストール作業を続けてください。

サービスパックのバージョンを確認する

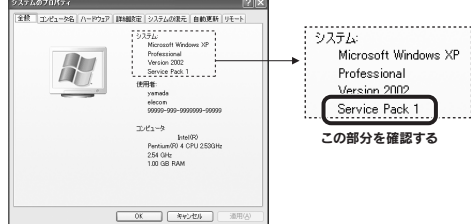
Windows® XP/2000 ではあらかじめサービスパック(SP)をインストールしておくことで「101 英語キーボード誤認識」問題を解決することができます。ここでは実際にご使用のWindows® がどのサービスパックを使用しているか確認する方法を説明します。なお、画面例は一部を除いてWindows® XPを使用していますが、Windows® 2000でも確認方法の手順は同じです。

- ① Windows® XP では [スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
Windows® 2000 ではデスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
- ② 「プロパティ」をクリックします。

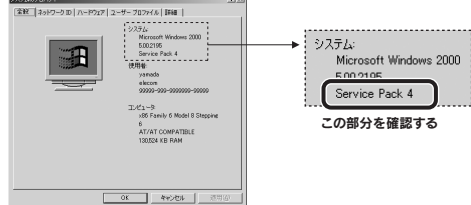


③ [全般] タブの「システム」に表示されているバージョンを確認します。

■ Windows® XP の場合



■ Windows® 2000 の場合



- 「Service Pack X」(Xは数字)が表示されていることを確認してください。
Windows® XP なら SP1 以降が、Windows® 2000 なら XP4 以降がインストールされていれば、そのまま本製品を接続しても問題は発生しません。

該当する SP (サービスパック) がインストールされていなかった場合

サービスパックを更新するにはインターネットを経由してダウンロードするのが一般的です。[スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[Windows Update] から更新するか、マイクロソフト社のホームページにある「Windows® XP」または「Windows® 2000」ページのダウンロードから入手してください。
※最新の情報はマイクロソフト社のホームページでご確認ください。

ユーティリティで設定を修正する

101 英語キーボードへの誤認識の問題を解決する方法として「USB キーボード 101->106 変更ユーティリティ」を弊社のホームページに用意しておりますので以下の手順でご利用ください。

① 弊社ホームページよりユーティリティをダウンロードします。

ダウンロード先 <http://www.elecom.co.jp/support/download>

[ダウンロード] ページにある一覧から [フルキーボード] を選択します。[ダウンロードフルキーボード] ページの「USB キーボード 101->106 変更ユーティリティ」をダウンロードしてください。
※ホームページの内容変更によりユーティリティの場所が変更される場合があります。

② ダウンロードしたファイルをダブルクリックして任意の場所に解凍します。

③ インストール・使用方法については、ユーティリティに添付されている「readme.txt」の内容をご覧ください。

不明なデバイスの削除方法

デバイスマネージャを表示する

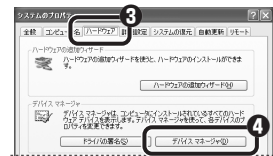
Windows® XP/2000 と Windows® Me/98 では、デバイスマネージャ画面の表示方法が異なりますので、該当する OS の説明をお読みください。

■ Windows® XP/2000 の場合

- ① Windows® XP では [スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
Windows® 2000 ではデスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
- ② 「プロパティ」をクリックします。



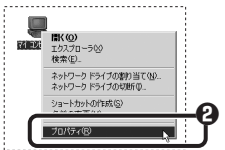
- ③ [ハードウェア] タブを選択します。
- ④ 「デバイスマネージャ」 ボタンをクリックします。



⑤ このあとは「ドライバを削除する」へ進みます。

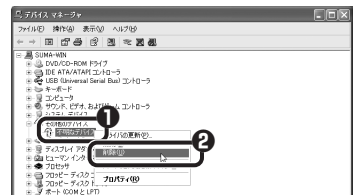
■ Windows® Me/98/98SE の場合

- ① デスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
- ② 「プロパティ」をクリックします。
- ③ このあとは「ドライバを削除する」へ進みます。

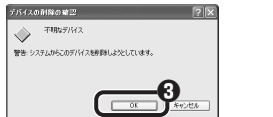


ドライバを削除する

- ① (デバイスマネージャ) 画面で「不明なデバイス」を右クリック
- ② 「削除」をクリックします。



- ③ [OK] ボタンをクリックします。



- ④ これで不明なデバイスの削除は完了です。Windows® を再起動して、本製品をもう一度パソコンの USB ポートに接続してください。

トラブルシューティング

- 本製品または本製品が接続された USB 機器が正常に認識されない、動作しない。
➡ご使用の OS を確認してください。本製品の USB HUB に接続した機器に問題がある場合は、このマニュアル表面の冒頭にある ■ HUB 機能をご使用になる場合の注意をお読みください。
- ➡本製品をパソコンの USB ポートから抜き挿ししてみてください。本製品が再度認識されます。それでも正常に認識されない場合は Windows® を再起動してみてください。
- ➡本製品をバス/パワーの USB HUB に接続していませんか? このような場合はパソコン本体の USB ポートに接続してみてください。バス/パワーの USB HUB に本製品を接続すると、ご使用にならない場合があります。

- 本製品を接続してから本体キーボードのキーの一部が正しく入力できない。
➡本体キーボードが 101 英語キーボードとして誤認識されている可能性があります。表面の「重要: お使いになる前にご確認ください」をお読みください。

- Windows® のサービスパックを入手できないまたは更新できない。
➡そのまま本製品を接続してみてください。本体キーボードが 101 英語キーボードに誤認識された場合は、弊社のホームページからユーティリティをダウンロードして設定を修正してください。詳しくは右の「ユーティリティで設定を修正する」をお読みください。

- Windows® のサービスパックで更新したが 101 英語キーボードに誤認識された。
➡弊社のホームページからユーティリティをダウンロードして設定を修正してください。詳しくは右の「ユーティリティで設定を修正する」をお読みください。

- Microsoft Excel を使用中に本製品から  を入力したが動作がおかしい。
➡Microsoft Excel で本製品をご使用になる場合、一部動作に制限があります。詳しくはこのマニュアルの冒頭に「Microsoft Excel を使用する場合の注意点」をお読みください。

- 本製品が不明なデバイスとして認識されている。
➡本製品は正常な場合「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」として認識されますが、ドライバが正しくインストールできなかった場合に「不明なデバイス」として登録されます。このような場合は、いったん登録されたデバイスを削除する必要があります。確認と削除の方法は、右の「不明なデバイスの削除方法」をお読みください。

- 再度、本製品のインストール画面が表示された。
➡本製品を接続する USB ポートを変更すると、初めと同じようにインストール作業が必要です。

- 本体キーボードの NumLock ランプ表示がキー入力に合わせて点滅する。
➡NumLock の状態によっては本体キーボードの NumLock ランプ表示がキー入力に合わせ点滅しますが、本製品の仕様によるもので故障ではありません。

- [L] や [K] などのキーを押すと数字が入力される。
➡本体キーボードの [NumLock] がオンになっていませんか? 本製品の NumLock センサ/レタ機能は本体キーボードの NumLock がオンの状態では機能しません。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づき輸出または役務取引許可が必要です。
・Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本製品に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

テンキーパッド TK2-UF2BH シリーズ
ユーザーズマニュアル 2006 年 2 月 15 日 第 1 版 エレコム株式会社
©2006 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.